

## 第3期県立高等学校再編計画（最終案）における修正箇所

| 項目   | 頁 | 修正内容等            | 修正案（修正前）   | 最終案（修正後）   |
|------|---|------------------|--|--|
| はじめに | 一 | 5～8パラ目<br>(時点修正) | <p>こうした近年の教育環境の変化と10年・15年先という未来を見据え、県立高等学校教育が如何にあるべきかを検討するため、令和5年6月から約1年3か月にわたり、外部有識者を構成員とする「県立高等学校教育の在り方検討会議」において議論を重ねました。令和5年7月には、中学生の進路希望等に関するアンケートを実施し、令和6年5月には、6地区8会場において「地区別懇談会」を開催し、各地区・各界の方々からの御意見を伺い、検討会議における検討の参考としました。その後においても、パブリック・コメント及び子どもからの意見聴取、県民説明会等を実施し、寄せられた多くの御意見を踏まえて、令和7年4月に「<u>県立高等学校教育の在り方～長期ビジョン～</u>」を策定しました。</p> <p>令和7年度においては、<u>5月下旬から6月上旬にかけて6地区8会場で、地域の皆様と地域の代表者からなる「今後の県立高校に関する地域検討会議」を開催し、「今後の高等学校教育の基本的な考え方」をお示しするとともに、地域の高校及び学科の配置の在り方に関する多数の御意見、御提言をいただきました。</u></p> | <p>こうした近年の教育環境の変化と10年・15年先という未来を見据え、県立高等学校教育が如何にあるべきかを検討するため、令和5年6月から約1年3か月にわたり、外部有識者を構成員とする「県立高等学校教育の在り方検討会議」において議論を重ねました。令和5年7月には、中学生の進路希望等に関するアンケートを実施し、令和6年5月には、6地区8会場において「地区別懇談会」を開催し、各地区・各界の方々からの御意見を伺い、検討会議における検討の参考としました。その後においても、パブリック・コメント及び子どもからの意見聴取、県民説明会等を実施し、寄せられた多くの御意見を踏まえて、令和7年4月に「<u>県立高等学校教育の在り方～長期ビジョン～</u>」(以下「長期ビジョン」という。)を策定しました。</p> <p>令和7年度においては、「<u>第3期県立高等学校再編計画</u>」(以下「本計画」という。)の策定に向け、「长期ビジョン」の他、「いわて県民計画（2019～2028）」、「岩手県教育振興計画（2024～2028）」等に基づき、当初案、修正案を段階的にお示しするとともに、県内各地区での地域検討会議、意見交換会、パブリック・コメント及び子どもからの意見聴取の実施等を通じ、広く県民の皆様方からの御意見、御提言をいただき検討を重ねることができました。</p> |

|                         |    |  |   |  |
|-------------------------|----|--|---|--|
|                         |    | <p><u>8月に公表した「第3期県立高等学校再編計画（当初案）」は、こうした御意見を十分に勘案し、具体的な再編内容を提示したものです。その後、8月下旬から9月中旬にかけて、県内各地区での地域検討会議、意見交換会等を開催し、パブリック・コメント及び子どもからの意見聴取等の実施を通じ、広く県民の皆様方から御意見、御提言をいただき検討を重ね、11月に「第3期県立高等学校再編計画（修正案）」を公表したところです。今後は、改めて各地区での地域検討会議、意見交換会等を開催し、御意見や御提言をいただきながら、再編計画策定に向けて取り組んで参ります。</u></p> <p><u>東日本大震災津波の教訓を踏まえ、「いわての復興教育」の取組を推進するとともに、生徒が「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を総合的に兼ね備え、将来に夢や希望を持ち、未来の岩手を持続可能なものに創造していく「生きる力」を身に付けることができる学びの実現に向けて取り組んで参ります。</u></p> | <p><u>本計画（最終案）は、こうした御意見等を十分に勘案し、未来の岩手の県立高等学校の再編と教育の在り方にについて提示したものであり、本県における高等学校教育のより一層の充実を図り、子どもたちを、広大な県土を有する地理的要因によって教育の機会を損なうことなく、様々な社会的变化を乗り越えて豊かな人生を切り拓く力を身に付けさせ、持続可能な社会の創り手、地域や地域産業を担う人材として育成していくことが、これから岩手の未来を切り拓く礎になると想え、作成したものです。</u></p> <p><u>東日本大震災津波の教訓を踏まえ、「いわての復興教育」の取組を推進するとともに、生徒が「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を総合的に兼ね備え、将来に夢や希望を持ち、未来の岩手を持続可能なものに創造していく「生きる力」を身に付けることができる学びの実現を目指し、本計画の着実な推進に努めて参ります。</u></p> |  |
| IV 2<br>(3) 県南地区【再編の方向】 | 24 | 5 ポツ目 「大東高校」<br>(追加)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>大東高校については、令和7年度までの入学志願者の状況等を踏まえて、令和11年度に情報ビジネス（商業）科を募集停止とします。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>大東高校については、令和7年度までの入学志願者の状況等を踏まえて、令和11年度に情報ビジネス（商業）科を募集停止とします。<br/><u>なお、令和8年度入試以降の入学志願者の状況や地域の実情等を注視していきます。</u></li> </ul>  |
| (4) 沿岸南部地区【再編の方向】       | 26 | 3 ポツ目 「大船渡東高校」<br>(追加)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>大船渡東高校については、調理師養成施設の学びの配置バランスを考慮して、食物文化（家庭）科の調理師養成施設を除く家庭の学びを農芸科学（農業）科の中にコース等として維持したうえで、令和12年度に食物文化（家庭）科を募集停止とします。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>大船渡東高校については、調理師養成施設の学びの配置バランスを考慮して、食物文化（家庭）科の調理師養成施設を除く家庭の学びを農芸科学（農業）科の中にコース等として維持したうえで、令和12年度に食物文化（家庭）科を募集停止とします。<br/><u>なお、農芸科学（農業）科については、教育内容の変更に併せ、学科名の変更を検討します。</u></li> </ul> |